

■市有財産（施設・土地）運用管理マスタープラン進捗状況について

【施設】

1. 経緯

- ◇ 建物台帳整理、施設カルテの作成（平成23年度～平成24年度）
- ◇ 市有財産（施設）運用管理マスタープランの策定（平成25年度）
- ◇ 市有財産（施設）運用管理マスタープラン実施計画の策定（平成26年度）
- ◇ 市有財産（施設）運用管理マスタープランガイドラインの策定（平成27年度）

2. 維持管理費の削減目標（平成30年3月31日現在）

- ・ 平成32年度までに6億円削減する。達成率 25.4%（152,700千円）
- ・ 平成32年度までの削減効果は、およそ5億円であり、目標額の6億円に向け、継続保全350施設の再編方針の見直し及び検討中99施設の再編方針を決めるヒアリングを実施し、事業計画を進めていく。

目標効果\年度		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計
当初目標	施設数(件)	7	17	12	13	19	31	50	149
	削減効果(千円)	13,600	15,700	25,500	105,900	170,400	39,800	135,400	506,300
実績	施設数(件)	(4)	(9)	(1)	(1)	—	—	—	(15)
		4	16	2	9	—	—	—	31
	削減効果(千円)	(12,100)	(10,600)	(200)	(500)	—	—	—	(23,400)
		12,100	35,600	97,400	7,600	—	—	—	152,700
達成状況	施設数(%)	(57%)	(53%)	(8%)	(8%)	—	—	—	(10%)
		57%	94%	17%	69%	—	—	—	21%
	削減効果(%)	(89%)	(68%)	(1%)	(0%)	—	—	—	(5%)
		89%	227%	382%	7%	—	—	—	30%

※（ ）カッコ内は、計画予定年度どおり実施した施設数及び削減効果額

3. 平成29年度の取組状況

平成30年度に市有財産（施設）運用管理マスタープランが策定から5年が経過する。計画では、5年毎に再編方針の見直しが行われるため、担当部署及び総合事務所のヒアリングを行った。また、担当部署及び総合事務所と連携を図り、地域・関係諸団体への説明を行い前倒し可能な施設は積極的に再編に取り組みました。

説明会内容	対象	開催日
付知ふれあいセンター	付知地区	平成29年10月～平成30年1月 付知区長会と協議を重ね、今後の方向性について協議した。
かしもひのきの	かしもひのき	平成29年6月～平成30年1月

家展示場	建築共同組合	今後の施設運営方法について協議した。
福岡いきがいサロン	社会福祉協議会	平成29年12月 今後の施設運営方法について協議した。
馬籠ふるさと学校・馬籠自然休養村センター	馬籠地区	平成29年12月～平成30年3月 馬籠自然休養村センターを解体し、馬籠ふるさと学校に機能の集約を行った。

【土 地】

1. 経緯

- ◇ 市有財産利活用基本方針を策定（平成21年度）
- ◇ 一筆ごとの抽出業務及び、周辺を含めた一体利用可能性調査を実施（平成25年度）
- ◇ 市有財産（土地）運用管理マスタープランの策定（平成26年度）
- ◇ 市有地の売却を促進するため、物件調査から一般競争入札の補助、事後対応といった一連の市有地売却業務を不動産取引業者へ包括委託（平成27年度モデル事業）
包括委託先・・・市岡商事株式会社（中津川市新町）

2. 売却目標額及び実績（平成30年3月31日現在）

- ・ 未利用地の売却額を、平成30年度まで年間2,500万円以上とする。

目標効果\年度	H26	H27	H28	H29	H30	計
当初目標(千円)	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	125,000
売却実績(千円)	8,500	17,600	51,200	120,211	—	197,511
面積(m ²)	6,600	3,200	50,200	56,911	—	116,911
達成状況	34%	70%	205%	481%	—	158%